

おはなしだより 6月

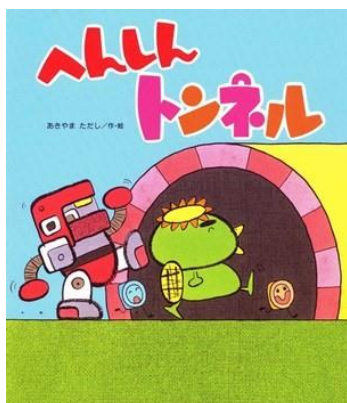
<年長>

へんしん トンネル

あきやま ただし 作/絵
金の星社

このトンネルをくぐると、なぜかいろんなものが変身してしまうのです！かっぱが、「かっぱかっぱかっぱかっぱ・・・」とつぶやきながらトンネルをくぐると、「ばかっぱかっぱかっぱかっ・・・」元気な馬になって出てきちゃいました。またあるとき、時計が、「とけいとけいとけいとけい・・・」とつぶやきながらトンネルをくぐると、「けいとけいとけいとけいと・・・」毛糸に変身です。

さてさて、次は何が何に変身するのでしょうか？



すてきな あまやどり

バレリー・ゴルバチョフ 作/絵
なががわ ちひろ 訳
徳間書店

牧場で摘んだ花を片手に、ヤギくんのもとへやって来たブタくん。途中、雨に降られたようで、すっかりずぶぬれです。ブタくんが言うには、ちゃんと木の下で雨宿りしていたみたいなのですが、そこへネズミが一匹やって来て、次にハリネズミが二匹やって来て、さらにバツファローが三匹、ヒョウが四匹…と、次から次へ動物達が集まって来たというのです。さらにブタくんの話はふくらんで、最終的にはゾウさんが十匹。なるほど、これでは確かに木からはみ出してしまいそう…と思いきや、そうではありませんでした。みんなちゃんと雨宿り出来るくらい大きな木だったんです。それなら何故？…ブタくんが語るずぶぬれの真相。その意外な結末に、「そうきたかっ」と思わずにっこりしてしまいました。

<年中>

キャベツくん

長 新太 文/絵
文研出版

キャベツくんが歩いてくると、ブタヤマさんに会いました。ブタヤマさんは、「あのね、おなががすいてフラフラなんだ。キャベツ、おまえをたべる！」そう言ってキャベツくんを捕まえます。「ぼくをたべるとキャベツになるよ！」「ブキャッ！」空を見ると、鼻がキャベツになっているブタヤマさんが浮かんでいます。「じゃあ、ヘビがきみをたべたら、どうなるんだ？」キャベツくんとブタヤマさんの珍妙なやりとりは続きます。

おたまじゃくしのチャム

竹中 マユミ 作/絵
偕成社



おたまじゃくしのチャムは、自分が大きくなったら何になるのか楽しみです。身体が変わってゆくたびに、チャムの想像はふくらみます。

<年少>

ねずみくんのチョコッキ

なかえ よしを 作
上野 紀子 絵
ポプラ社

おかあさんがあんでくれた赤いチョコッキをきたねずみくん。そこへ動物たちがやってきて、「ちょっときせてよ」とつぎつぎにチョコッキを着ていきます。あらあら、チョコッキはどんどのびて・・・



カエルくんの みずたまり

宮西 達也 作/絵
鈴木出版

雨降りのあと、大きな水たまりを見つけたかえるくんは、大喜び。水たまりに入ろうとしたとたん、大きなたこが出てきました。続いてサンマが、ペンギンが。出てきては水たまりに戻って行って…。かえるくんが驚いて腰を抜かしていると、そこへやってきたウシガエルくんは、さてどうしたのでしょうか。驚きの展開の最後に、さらに驚きの結末が待っています。横長のワイドな画面いっぱいに描かれた生き物たちが、迫力満点の一冊です。

<年長・年中・年少>

どっちがたさい？
シャンプークイズ

花王

いっぱい遊んで汗をかくので頭が汚れたら、毎日シャンプーすることが大切！ひとりで上手にシャンプーすることを楽しながらチャレンジしましょう。

